

施策

① スポーツ活動の充実に取り組みます

- ▶スポーツ活動の拠点施設の整備に向けた取り組みを進め、市民のスポーツ振興及び競技スポーツによるまちの活性化
- ▶中長期的な視点に立った体育館や運動場等のスポーツ施設の維持・保全対策等を行うとともに、効率的な管理運営
- ▶スポーツ施設を気軽に利用できる環境づくりに努めるとともに、各地域の施設を活用し、健康寿命の延伸に向けた健康づくり
- ▶障がいのある人等のスポーツ参加を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現
- ▶地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成に取り組み、地域住民間の交流や地域住民のスポーツへの参加機会の充実
- ▶2031年に奈良県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた会場誘致

② 芸術・文化の振興を図ります

- ▶芸術・文化活動の拠点施設である文化会館の環境整備と長寿命化対策
- ▶芸術や文化の振興を促進するため、講座等の充実を図り、市民の芸術・文化活動の支援
- ▶創作活動の成果発表の場や、文化芸術鑑賞による創造的な「思考力、判断力、表現力等」の育成
- ▶文化芸術活動体験交流施設や室生高齢者等ふれあい館等での芸術・文化活動を推進し、地域の活性化を図るとともに、より効果的な運営の実現



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- スポーツ施設長寿命化
- スポーツイベント開催
- 文化会館自主事業
- 美術展覧会開催
- 文化会館長寿命化

こんな計画が関連しています

- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市障がい者計画
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

- ※55. **国民スポーツ大会(国民体育大会)**：毎年、都道府県持ち回りで開催される国内最大のスポーツの祭典です。国民体育大会(本大会)と国民体育大会冬季大会に分かれており、都道府県対抗で実施されます。また、「国民体育大会」の名称は、2024年の佐賀県での大会から「国民スポーツ大会」に変更されることとなっています。
- ※56. **全国障害者スポーツ大会**：毎年、国民体育大会を副催した都道府県で開催される、全国的な障害者スポーツの祭典です。大会は、3日間の会期で行われ、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催されています。
- ※57. **総合型地域スポーツクラブ**：身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人がそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

自然豊かなまち

施策の方向性

5-1 豊かな自然環境の保全・活用

5-2 生活環境の整備・充実

5-3 公園・緑地の整備・活用

評価指標	現状値		目標値(2029年)	指標の考え方
	前期基本計画策定時	中期基本計画策定時		
宇陀市のBOD*	0.7 mg / ℓ (2017年)	1.5 mg / ℓ (2020年)	0.6 mg / ℓ	自然環境を保全する取組みによって、宇陀川の美しい環境の維持及び美化につながると思います。
市民1人あたりのごみ排出量	0.27t / 年 (2017年度)	0.27t / 年 (2020年度)	0.25t / 年	循環型社会の実現に向けた取組みや自然環境を保全・活用する取組みの推進が、市民の方々が排出するごみの削減につながると思います。

※BOD(Biochemical OXjgen Demand) は生物化学的酸素要求量とって、最も一般的な水質指標の一つです。水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものであり、一般に、BODの値が大きいほど、その水質は悪いと言えます。



SDGs



施策の方向性

5-1 豊かな自然環境の保全・活用

現状

- ▶ 国は、2050年にカーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標に向けた取り組みを加速
- ▶ 不法投棄の防止対策を実施
- ▶ 植物では国指定天然物のカザグルマの自生地や向瀬スズラン群落があり、保護活動や生育環境を保全
- ▶ 室生ダムより下流の宇陀川や室生川等の河川には特別天然記念物であるオオサンショウウオが生息
- ▶ 宇陀市は豊かな自然に囲まれ、美しい山々ときれいな空気、水が生み出す風景が大きな強み

課題

- ▶ 国のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みと合わせ、宇陀市においても脱炭素社会を視野に入れた取り組みの推進
- ▶ 清掃活動への参加意識を高めるとともに、環境美化運動についての啓発
- ▶ カザグルマやスズランの生育環境の保全
- ▶ 農林業の振興と森林の保全
- ▶ 宇陀市の自然環境を守り、引き継いでいくための、森林や里山の保全

※58. **カーボンニュートラル**：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林・森林管理等による吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。

※59. **脱炭素**：地球温暖化の大きな要因となっている二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑えることです。

施策

① 豊かで美しい自然環境を保全・活用します

- ▶ グリーン社会の現実に向け、自然環境と開発の調和
- ▶ 地域での清掃美化運動の取り組みの強化
- ▶ 環境パトロールの実施による不法投棄の早期発見と早期撤去に努めるとともに、不法投棄防止看板の設置等による防止対策
- ▶ 河川や地下水等の水質検査を実施し、水質の保全
- ▶ 豊かな自然を感じてもらえるよう、スズランやカザグルマの個体群を観察、保護・再生するなど、国指定天然記念物の生育環境の整備
- ▶ 奈良県と三重県教育委員会が共同で策定した特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針に基づいたオオサンショウウオの保護対策



こんな事業を行っています

(事業は2021年度の事業を基にしています)

- 国指定天然記念物向瀬スズラン群落再生
- 環境美化活動
- 国指定天然記念物カザグルマ自生地再生
- 里山の広葉樹林再生
- 国指定特別天然記念物オオサンショウウオ保護

こんな計画が関連しています

- 向瀬スズラン群落保存管理計画
- 公共建築物における宇陀市産木材利用推進方針
- カザグルマ自生地保存管理計画
- 宇陀市週次地域持続的発展計画
- 宇陀市森林整備計画

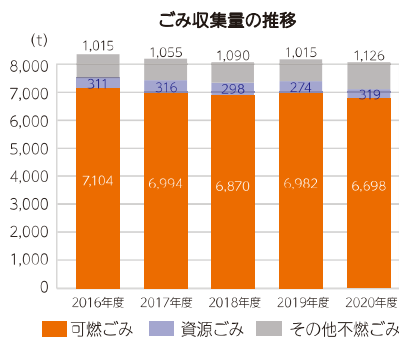


施策の方向性

5-2 生活環境の整備・充実

現状

- ▶ 宇陀クリーンセンターの稼働年限に応じた設備の更新・補修
- ▶ プラスチック資源循環戦略に基づく脱プラスチックの取り組みなどによる、廃棄物排出抑制
- ▶ ごみの減量化や資源化を通じた循環型社会の構築
- ▶ 市営榛原斎場と不燃堂火葬場の設備を計画的に修繕



課題

- ▶ 2028年度までに安定的なごみ処理施設の設置
- ▶ 市民のリサイクル意識の向上を図り、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの推進

施策

① ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します

- ▶ 新たなごみ処理施設の整備と、それまでの期間、既設の施設での安定したごみ処理
- ▶ ごみの減量に対する意識の高揚に向けた啓発活動や資源ごみの回収、集団回収への支援を通じたリサイクルの推進
- ▶ 家庭の生ごみの減量・資源化を促進するため、処理機購入に対する支援

※60. **プラスチック資源循環戦略**: 資源、廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化など幅広い課題に対応するため、3R+Renewable(再生可能資源への代替)を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するため、2018年5月に国が策定した戦略のことです。

② 生活衛生環境の向上を図ります

- ▶ 水質保全や公衆衛生の向上のため、下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽設置に対する支援
- ▶ 生活衛生環境の向上のため、老朽化したし尿処理施設の更新や維持管理の徹底
- ▶ 市営榛原斎場と不燃堂火葬場を計画的に修繕し、機能の維持を図るとともに、適切な運営
- ▶ 市営赤人霊苑の適切な管理運営に努め、墓地使用者が安心して利用できる環境の提供
- ▶ 狂犬病予防注射や登録など、動物の飼育マナーの啓発



こんな事業を行っています

(事業は2021年度の事業を基にしています)

- 宇陀クリーンセンター設備更新
- 合併処理浄化槽設置補助
- 集団資源回収助成
- 狂犬病予防注射
- 生ごみ処理機等購入助成

こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※61. **循環型社会**: 製品等が廃棄物等となることを抑制し、次に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として利用し、最後にどうしても利用できないものは適切に処分することで天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会のことです。
 ※62. **合併処理浄化槽**: 台所や浴室から出る生活雑排水と、し尿を併せて処理することができる浄化槽のことです。

はじめに
宇陀市の紹介

第1編 中期基本計画の策定にあたって

第2編 基本構想

第3編 基本計画

自然豊かなまち
地域力を高める

資料編

SDGs



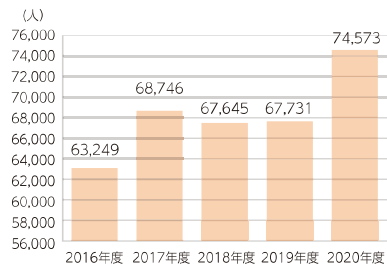
施策の方向性

5-3 公園・緑地の整備・活用

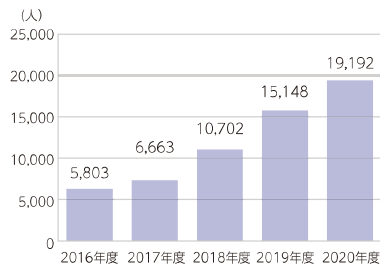
現状

- ▶ 平成榛原子供のもり公園は市外からの来園者が多く人気があるものの、2001年の開園時に比べると、来園者数は大きく減少
- ▶ 室生山上公園芸術の森の2020年度の来園者数は開園後最多となるなど、増加の傾向
- ▶ 公園や緑地施設は交流やにぎわいの拠点となる場所であるが、老朽化が進行している施設が多数存在

平成榛原子供のもり公園来園者数の推移



室生山上公園芸術の森来園者数の推移



課題

- ▶ 市民の憩いの場としてだけでなく、スポーツを通じた健康づくりやまちづくりを実現するための空間整備
- ▶ 公園や緑地空間を良好な状態に保ちながら来園者の増加を図るなど、より効果的な活用・運営の検討
- ▶ 利用者が安全・快適に利用できるよう、公園施設の計画的な更新

施策

① 快適に利用できる公園・緑地空間を提供します

- ▶ 市有地等を利用した多世代が交流できる空間の整備
- ▶ 平成榛原子供のもり公園の運営において、Park-PFI等の民間活力の導入を模索し、より魅力的な公園
- ▶ 緑地空間の提供
- ▶ 室生山上公園芸術の森は、文化芸術活動による地域の活性化を推進するとともに、来園者の多いシーズンにも対応した維持・運営の徹底
- ▶ ワールドメイプルパークは、指定管理者によるカエデの育成管理だけでなく、地域活性化を推進するため、自然体験等を通じた運営管理
- ▶ 老朽化により更新が必要な公園施設の修繕や長寿命化を計画的に進めるなど、安全・快適に利用できる空間の維持



こんな事業を行っています

(事業は2021年度の事業を基にしています)

- ワールドメイプルパーク指定管理
- 室生山上公園芸術の森管理運営
- 平成榛原子供のもり公園民間活力検討
- 長寿命化計画に基づく公園施設整備
- 宇陀川公園整備

こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市公園施設長寿命化計画
- 緑の基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※63. Park-PFI:飲食店、売店等の公園利用者の利便性向上に資する公衆対象公園施設の設置・管理運営と、この将来的な収益を活用した公園の広場、園路、駐車場等の整備・改修等を民間事業者が一体的に施工することができる制度のことです。

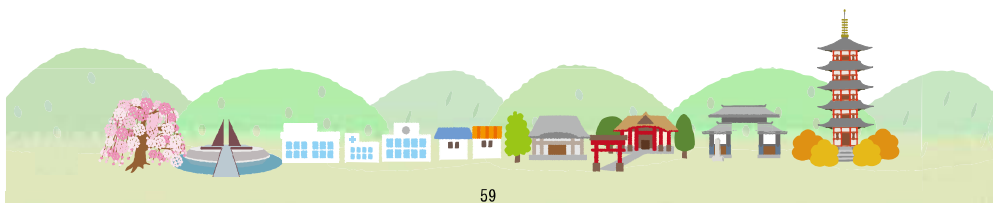
地域力を 発揮するまち

施策の
方向性

- 6-1 市民と行政の協働のまちづくり
- 6-2 健全な行政運営の推進
- 6-3 広域行政の推進
- 6-4 地域力の再生・強化



評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
まちづくり協議会による取組件数	245件 (2017年度)	163件 (2020年度)	300件	市民と行政の協働のまちづくりや地域力の再生・強化に向けた取組みを進めることで、まちづくり協議会の主体的な取組みが増加すると考えます。
市やまちづくり協議会のSNSのフォロワー数	1,044件 (2017年度)	3,552件 (2020年度)	10,000件	市等が積極的に情報発信や市民との情報共有を行うことによって、SNSのフォロワー数が増加すると考えます。
経常収支比率	99.3% (2017年度)	97.0% (2020年度)	95.0%	市民と行政が適切な役割分担のもとでまちづくりを進めることによって、行政の財務負担の軽減につながり、経常収支比率の改善につながると考えます。



SDGs



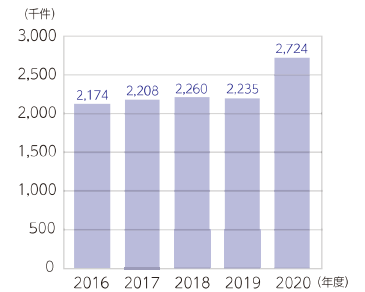
施策の
方向性

6-1 市民と行政の協働のまちづくり

現状

- ▶ 議会本会議の状況を生放送するとともに、会議内容をホームページで公開
- ▶ 市民の行政に対するニーズが多様化
- ▶ 情報通信技術の進展によるデジタル化の浸透に伴い、情報を発信する媒体が多様化
- ▶ ホームページやフェイスブック等を活用し、市内外に向け情報を発信
- ▶ 「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えのもと、市内全域でまちづくり協議会が設立

市ホームページのアクセス数の推移



課題

- ▶ 市民が必要とする新鮮で魅力ある情報や市民生活に役立つ情報を迅速に発信するとともに、情報を一方的に発信するのではなく、市民の意見の反映
- ▶ 宇陀市の魅力を高めるため、情報通信技術を活かした多様な情報発信

施策

① 情報発信の充実を図ります

- ▶ 議会定例会や各種審議会の会議内容をホームページで公表するなど情報の共有
- ▶ 各施策・各事業等の説明責任を果たすため、最新の情報を市ホームページや広報うだ、自主放送「うだちゃん11」、フェイスブックなど様々な情報発信手段の活用
- ▶ 宇陀市の農林畜産物や自然環境、歴史文化資源等の地域資源を「大和高原宇陀ブランド」として広く情報発信するため、YouTube等の活用
- ▶ 観光情報や各種イベントについての効果的な情報発信
- ▶ 市民や民間事業者が活用できるオープンデータの提供に取り組み、データの二次利用の促進

② 市民協働のまちづくりを推進します

- ▶ 市民や自治会・まちづくり協議会等の団体と協働して、地域ごとの課題解決に向けた体制の強化
- ▶ 市内の隅々から声の届く市民参加型の行政を目指し、事業所や各種団体と市長が直接、意見交換を行うなど開かれた市政の実現



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- 広報うだの発行
- ホームページ運用
- 「うだちゃん」自主放送
- 市長とまちかどトーク
- まちづくり協議会支援

こんな計画が関連しています

- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※64. **フェイスブック**：インターネット上で人と人を双方向でつなく、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の一つで、投稿に対して他の利用者がコメントしたり、他の利用者に向けて転載したりすることで、情報を素早く、より多くの人に伝えられる特徴があります。

※65. **オープンデータ**：公共データを営利・非営利を問わず誰もが自由に再利用を可能な形で公開することです。

SDGs

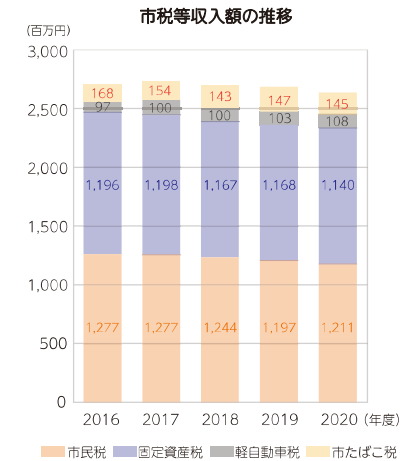


施策の方向性

6-2 健全な行政運営の推進

現状

- ▶ 国において、「書面、押印、対面」の見直しやデジタル化が加速
- ▶ 国においては、各自治体が独自に構築しているシステムを標準化する動き
- ▶ 申請方法の周知や窓口の拡充により積極的にマイナンバーカードを普及
- ▶ 市税等のコンビニ収納や窓口手数料等のキャッシュレス決済を導入
- ▶ 市税をはじめとする自主財源の確保に努めているものの、地方交付税への依存度が高い状況
- ▶ 2019・2020年度決算をもとに奈良県からの財政重症警報が発令され、財政健全化に向けた取り組みを推進
- ▶ 公共施設の維持管理経費が類似団体に比べて高く、公共施設やインフラ資産の老朽化が進み、更新の時期を迎える施設などが増加



課題

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世の中の考え方・働き方の変化に合った新たな行政サービスの展開と提供
- ▶ 限られた職員数と財源で行政サービスを維持し、多様な行政需要に対応するために、行政手続きのオンライン化を推進するなどデジタル技術等を活用した業務の効率化
- ▶ マイナンバーカードの利活用による市民の利便性の向上
- ▶ 行政組織としての機能を十分に発揮するため、組織改革と職員一人一人の意識改革と資質の向上
- ▶ 市民が安心して住み続けられる行政経営を行っていくために、財源の確保と経費の縮減
- ▶ 公共施設について、施設の統合（複合化、機能集約）・廃止・長寿命化の検討
- ▶ 市が保有する土地について、特に未利用資産の売却や貸付に向けた取り組み

※66. **類似団体**：市町村の態様を決定する要素のうち最もその度合いが強く、しかも容易かつ客観的に把握できる「人口」と「産業構造」により設定された類型のことで、大都市、特別区、中核市、特別市、都市、町村ごとに分別されています。

施策

① わかりやすく丁寧な行政サービスを提供します

- ▶市役所において個人情報の保護などセキュリティ対策を徹底した上でデジタル技術の活用を進め、行政の効率化や迅速かつ正確な事務処理を行うなど、サービスの向上と業務の改善
- ▶国が進めるマイナンバー制度の活用拡大に合わせ、全ての人のマイナンバーカード取得を目指し、各種申請のオンライン化等の利活用
- ▶庁内の情報連携を図り、手続きや相談のワンストップ化
- ▶窓口での証明書発行手数料や公共施設利用料など、キャッシュレス決済の拡充

② 新たな時代に対応できる行政運営を確立します

- ▶多様なニーズや新たな時代に対応した行政サービスを提供するため、人材の確保や市民から信頼される職員の人材育成
- ▶新たな時代に対応した組織体制の構築や職員の適正配置を行うとともに、業務上発生しうるリスクに対する組織的な管理の徹底や情報セキュリティ対策の強化
- ▶行政事務のデジタル化、ペーパーレスの実現に向けた文書の電子化を進め、事務処理の効率化
- ▶AI（人工知能）やRPAなど情報通信技術を活用したスマート宇陀による業務改革を推進し、持続可能な行政サービスの提供
- ▶新型コロナウイルス感染症など感染症対策を徹底するとともに、災害時においても業務が継続できる体制の整備

③ 持続可能な財政運営を確立します

- ▶2025年度までの間を重点施策への戦略的投資期間と位置付け、将来を見据えた事業の推進
- ▶将来にわたって安定的な財政運営を行うため、歳入の見直しと市税の徴収率の向上
- ▶ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度を活用した財源の確保
- ▶財政調整基金の確保に努め、将来世代に過度な負担を残さないよう、適正な市債の発行
- ▶公共施設やインフラ資産を適切に管理し、安全の確保と長寿命化を図り、必要に応じた民間ノウハウの有効活用
- ▶公共施設の機能集約を進め、施設保有量の最適化
- ▶市が保有する低未利用の土地について、必要に応じた環境整備と売却



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- マイナンバーカードを利用したコンビニ交付
- 職員研修
- 総合案内業務
- 市税徴収対策

こんな計画が関連しています

- 宇陀市行政改革大綱
- 宇陀市立地適正化計画
- 宇陀市公共施設等総合管理計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※67. RPA：「Robotic Process Automation」の略で、これまで人間が行ってきた定型なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するものです。

※68. 企業版ふるさと納税：企業が地方公共団体の地方創生の取り組みに対して寄附を行った場合に、法人関係税を税額控除するものです。

SDGs



施策の方向性

6-3 広域行政の推進

現状

- ▶県内37市町村で構成する一部事務組合により、消防・救急業務を実施
- ▶桜井宇陀広域連合では圏域内の地域活性化に関する業務や介護保険認定審査会等を実施
- ▶近隣市村と構成する一部事務組合により、ごみ処理やし尿処理業務を実施

課題

- ▶多様化するニーズ等に対応し、より効果的に行政サービスを提供するため、広域での自治体間連携の強化
- ▶行政事務の効率化やコスト削減を図るため、行政事務の広域化
- ▶広域での周遊・滞在型観光に向け、周辺市町村との連携を強化するとともに組織の集約化
- ▶姉妹都市提携を進めるなど、自治体間交流の促進

施策

① 広域行政を推進します

- ▶近隣市村や県内関係市町村との間で構成する広域連合や一部事務組合において、効率的・効果的な広域行政事務の推進
- ▶大和高原地域や女人高野室生寺等の観光事業について、広域での周遊・滞在型観光を推進するため、関係市町村との連携の強化
- ▶より良い行政サービスの実現や、関係人口の創出による地域活性化に向け、他都市と友好的な交流
- ▶DXを推進するため、奈良県や関係市町村との連携の強化
- ▶経営基盤を強化し、安定的に水を供給するため、(仮称)奈良県広域水道企業団の設立促進



こんな事業を行っています (事業は2021年度の事業を基にしています)

- 桜井宇陀広域連合負担金
- 奈良県広域消防組合負担金
- 自治体交流

こんな計画が関連しています

- 水道事業等の統合に関する覚書
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※69. 一部事務組合：複数の地方公共団体がその事務の一部を共同処理することを目的として設置する団体で、奈良県広域消防組合や宇陀衛生一部事務組合、東宇陀環境衛生組合等が該当します。

※70. 広域連合：複数の地方公共団体が広域にわたる総合的な計画を作成して、その実施のために連絡調整を図り、その事務の一部を処理するために設置する団体で、一部事務組合に比べて、国や県から直接に権限等の委任を受けることができます。

※71. DX: Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)のことで、デジタル技術とデータの活用が進むことにより、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革命に向けて産業・組織・個人が大転換を図ることです。

はじめに
宇陀市の紹介

第1章 中期基本計画の策定にあたって

第2章 基本構想

第3章 基本計画

健康なまち
暮らしやすいまち
元気なまち
生き生きとしたまち
自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編

SDGs



施策の
方向性

6-4 地域力の再生・強化

現状

- ▶ 担い手の不足や高齢化等により、自治会やまちづくり協議会の活動力が低下
- ▶ 高齢化の進行、生活スタイルや価値観の多様化等により、地域課題が多様化
- ▶ 地域の個性を活かした活動を行う団体に対して支援

課題

- ▶ 地域の実情や課題を認識した上で、問題の解決
- ▶ 地域のにぎわいの創出や活性化の推進
- ▶ 宇陀市のまちづくりに携わり、応援してくれるサポーターを増やしながら、地域全体が連携したまちづくりの推進

施策

① 市民のまちづくり活動を支援します

- ▶ さらなる地域力向上のため、自治会やまちづくり協議会の健全な育成と円滑な運営の支援
- ▶ 地域の資源や特性を活かした自主的な活動に取り組む団体への支援
- ▶ 諸外国との交流活動など、市民団体が行うまちづくり活動の支援



こんな事業を行っています (事業は 2021 年度の事業を基にしています)

- まちづくり活動応援補助金
- 連合自治会支援

こんな計画が関連しています

- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

はじめに
宇陀市の紹介

第1章 中期基本計画の策定にあたって

第2章 基本構想

第3章 基本計画

健康なまち
暮らしやすいまち
活力あるまち
生き生きとしたまち
自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編